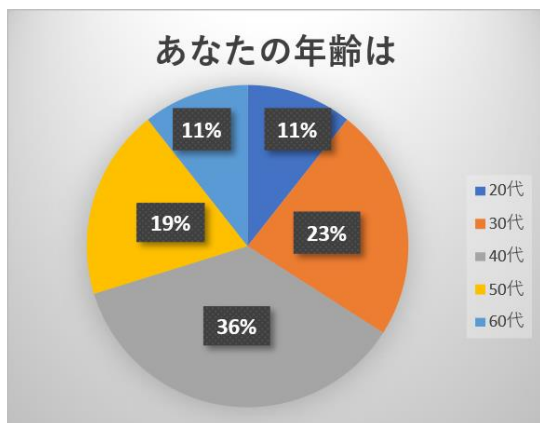


# 第30回都城緩和ケア研究会

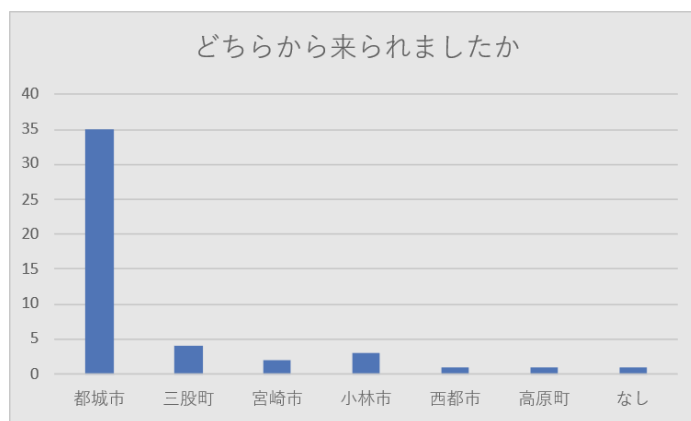
## アンケート結果

- 開催日：令和5年11月11日(土)
- 参加者数：53名
- アンケート回答数：49名(回収率92.4%)
- 有効アンケート数：47名(有効率88.7%)

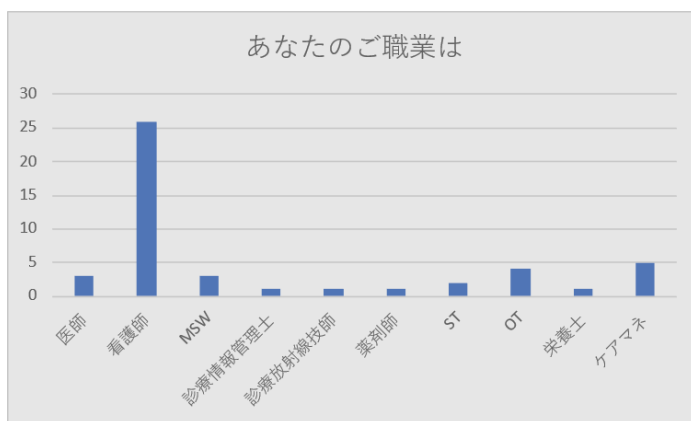
### 1、年齢



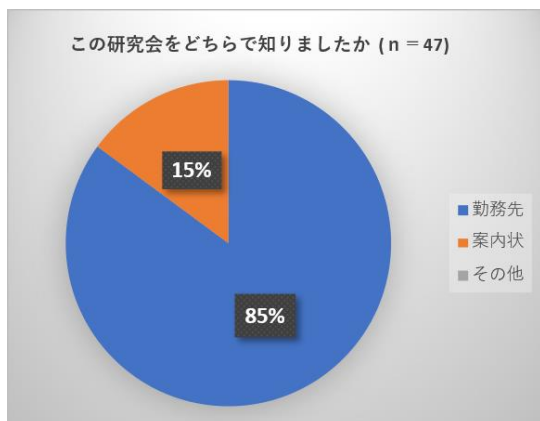
### 2、参加地域



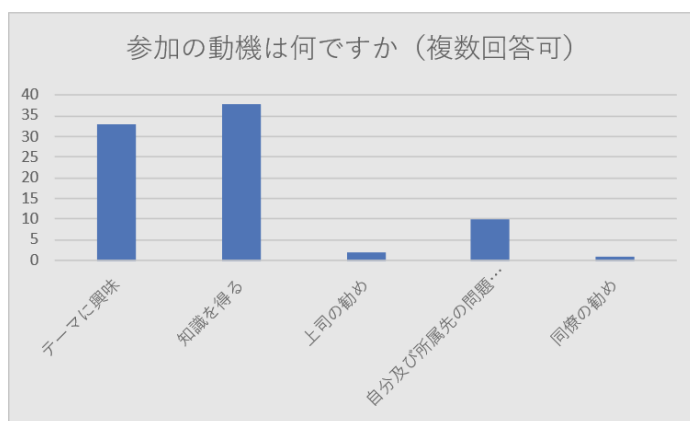
### 3、職業(職種別)



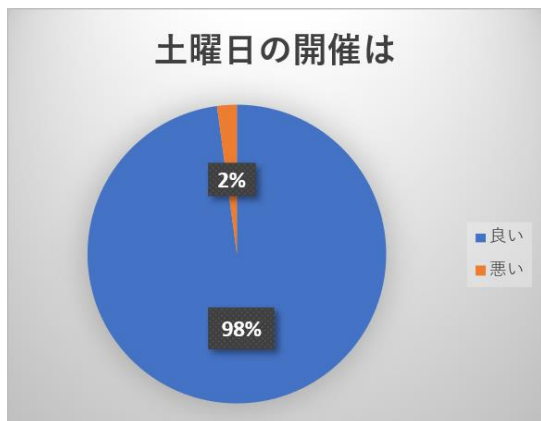
### 4、この研究会をどちらで知りましたか(複数回答)



### 5、参加の動機(複数回答)

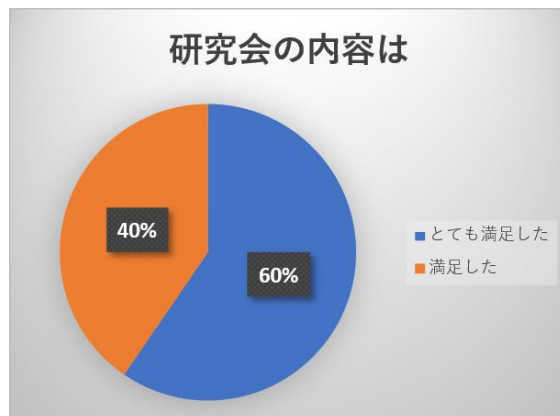


## 6、開催時期について



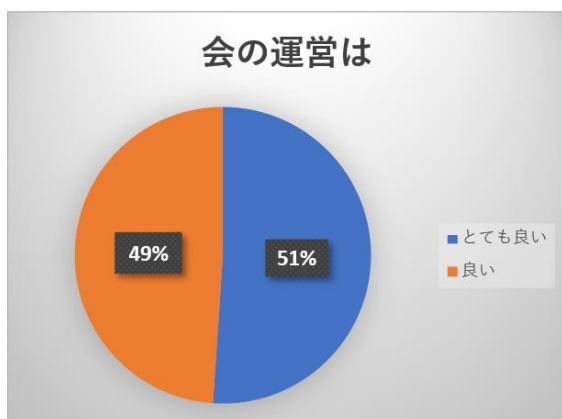
- ・平日の開催希望

## 7、研究会の内容について



- ・「やや満足できなかった」0名
- 「全く満足できなかった」0名

## 8、運営形式について



- ・「やや悪い」「悪い」0名

## 9. 研究会に取り上げて欲しいテーマ（抜粋）

- ・ACP の進め方、意志決定支援について
- ・多職種連携について
- ・事例とラポールの形成の方法
- ・在宅ケアチームとの連携状況
- ・疼痛などの緩和薬の理解を深める
- ・家族ケア
- ・終末期でのリハビリについてもっと知りたい

## 10. その他、ご意見、ご感想（抜粋）

- ・皆で話せるシンポジウム形式がとても良かったです。日々悩むことが多いので他の職種の関りなどを知る事ができて良かったです。今回の研修で明日からまた頑張れそうです。また参加したいです。ありがとうございました。
- ・5つの違ったテーマの発表で幅広い見識に触れることが大変有意義であった。グループワークはもっと時間が頂きたいほど、参加者それぞれが自分の考えを発表されていて参加して本当に良かったと感じた。
- ・多職種で一人の患者様に関わる事が、日々を支えるのに大切であることを改めて認識した。関わるからこそ情報共有をどのようにしていくのか、今後の課題であると思った。
- ・ディスカッションがあつという間でした。発表の方々、本当にお疲れ様でした。
- ・今回緩和ケアの研修会に初めて参加しましたが、「語りに関して」患者に接することが多く悩むことがあって、色々な正解があると知りました。チームで情報共有の大切さを改めて認識しました。
- ・多職種が来られていて色々な意見が聞けました。いろんな症例を聞きたいと思いました。
- ・医療と介護の考え方の違いがあるが、利用者の事を考えて行く過程は同じと思われるが、家族の事も考えて欲しいと思います。コロナ禍で面会が規制されているので、カンファレンスを多くして本人の状態を知りたいと思います。

# 1 1. 会場の様子

